

科目	体育・スポーツ社会学	担当	横井 康博	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

現在スポーツの大衆化・国際化が大きく進展し、スポーツが我々の生活のあらゆる側面に深くかかわる時代になってきたのである。スポーツは単にレクリエーションとしての楽しみ、健康の維持増進にとどまらず、政治や経済の動向にも大きなインパクトを与えている。

そこで本講義では、現代社会におけるスポーツの発展の過程を的確に分析・把握することを目標とする。

【履修注意】

毎時間ごとのミニレポート作成を重視するため、講義内容についての的確な把握に努める基本的には、全出席。スポーツマネジメントコース希望者は、必修。

【評価方法】

テスト40%、中間チェック・ミニレポート点30%、出席点30%で評価する。

【試験について】

期末に筆記試験を行う。

再試験対象者の条件： 出席要件を満たした者。

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。

【教科書】

講義中に必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	授業展開の説明と現時点での理解度の確認
2	現代社会とスポーツ	現代社会におけるスポーツの意義について
3	ライフスタイルとスポーツ	ライフスタイルとしてのスポーツについて
4	スポーツの広がり	スポーツ実施状況などについて
5	スポーツの社会化	スポーツ参加に関するかていについて
6	少子・高齢社会とスポーツ	スポーツ参加とQOLについて
7	スポーツの社会的基盤	学校・地域・企業・民間スポーツクラブについて
8	中間チェック	前半のおさらい
9	商業主義とスポーツ	スポーツにまつわるお金について
10	スポーツとマスメディア	『みる』スポーツについての動向
11	スポーツとジェンダー	近代スポーツのジェンダー・イデオロギー
12	スポーツノーマライゼーション	スポーツの世界における差別について
13	スポーツの社会的病理	スポーツにおけるドロップアウトや環境問題などについて
14	スポーツ社会学のすすめ	スポーツ社会学に関する研究テーマについて
15	まとめ	体育・スポーツ社会学の総まとめ
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ